



京都部会(第13回)	
日時:	2012年3月23日(金) 18:00-20:30
場所:	同志社大学 光塩館
参加者:	篠原(同志社大)、下村(山城高校)、川上(同志社大)、佐々木(同志社大)、中藤(嵯峨野高校)、柳(安曇川高校)、上畑(御池中学)、大谷(関大附属中高)、西村(同志社大) [順不同]
<p>【内容要旨】</p> <p>(1) いつもより開始時間が1時間早かったので、出席予定者が揃うまで震災による便乗値上げの是非について意見交換した。経済学的には震災で供給チェーンが分断されたため、供給が非弾力的な垂直線になり市場価格が上昇すると解釈され得る。しかし、非常事態に関わる状況を取り上げると価格上昇は非難されるのかもしれない。多様な意見が出てくる背景には、公正についての客観的な基準の欠如が指摘された。</p> <p>(2) 今回の参加者は9名であった。経済教育ネットワークの篠原総一代表者から、今年8月に開催予定の「先生のための夏休み経済教室」についての日程・会場および講師がほぼ決まったことの報告があった。</p> <p>(3) 続いて、奈良学園中学校の卒業研究「マクドナルドの経営戦略」や河原和之氏が大阪の中学校で実践された「TPP参加の是非」についてのクラス・ディスカッションのレジメの紹介があった。</p> <p>(4) 最後に、中川雅之氏(日本大学)が日本経済新聞の経済教室に掲載された論文から震災後の復興のあり方について、および、山崎辰也氏(筑波大学大学院)の「投票行動を機会費用で学ぶ」について、3月9日に開催された東京部会(No.47)での議論に関する論点整理とそれに関わる意見交換がなされた。</p> <p style="text-align: right;">(文責:西村理)</p>	
<p>次回開催予定: 2012年5月25日(金) 19:00~21:00 場所:同志社大学 光塩館</p>	